

大宮区役所新庁舎整備に関する市民説明会（懇談会）の主な意見

市民説明会：平成25年3月23日（市民会館おおみや小ホール）

市民説明会：平成25年3月26日（大宮区役所6階会議室）

質問内容の（ ）内は意見が出された日

内容分類	意見内容	事務局回答
土地利用計画		
駐車場	① 駐車場の台数には、将来構想している歴史・文化複合施設のものも入っているのか（3/23）	① 現段階では駐車場の想定台数を170台から190台と計算しております。将来構想の歴史・文化複合施設の分は含まれていません。
	② 図書館が導入されるので土日も駐車場は使えるのか（3/23）	② 図書館機能を導入することから土日も使えるよう計画を進めていきます。
駐輪場	① 駐輪場はどれくらいの収容台数を想定しているのか。（3/23・26）	① 駐輪場については、区役所利用以外の駐輪が多い状況です。利用状況を見極めて必要台数を計算していく必要があると考えています。想定台数は改めて報告していきます。
杜のひろば	① 杜のひろばは新庁舎と合わせて整備されるのか（3/23）	① 杜のひろばは山丸公園と一体的に整備を行っていく予定とし、今回は新庁舎の敷地を先行して整備していきます。また、防災機能の観点から暫定的な整備も併せて進めていきます。
	② 杜のひろばの入口にSLが置いてあるが、錆びついてみすばらしい。どのように考えているか。（3/23）	② SLの場所は今の場所が良いのか改めて検討する必要があると考えています。今後、所管課およびJRと協議をしていきます。
建築計画		
施設イメージ	① 新庁舎整備の考え方において、文化の視点が薄いと感じる。大宮は明治の多くの文豪が愛した町であり、また盆栽も特徴的である。文化人の方たちとコラボレーションをして大宮の文化度が高まるつくりにしてほしい。（3/23）	① 建築のシンボル性やデザイン性を考えるうえで、地域文化の視点は大変重要な要素になってくると考えます。大宮らしさに配慮したシンボル性やデザイン性を打ち出した建築計画となるよう考えていきます。
デザイン性	① 大宮区のシンボルとなり、この庁舎が私たちの区役所だという思いがもてるセンスのいいものをつくってほしい。（3/23） ② 庁舎の外観の持つ役割は大きいと思う。大宮駅東口はダーティで騒々しいというイメージがある。大宮再生のシンボル、東口の新しいイメージとなるようなデザインにしてほしい。（3/26） ③ 大宮駅は東日本の玄関口としてのポテンシャルがある。大宮駅周辺、大門町2丁目の再開発と景観やデザインを連携してイメージをつくってほしい。（3/26）	デザインの考え方は様々あると思います。新庁舎の整備については、隣接する氷川参道、大宮らしさ、シンボル性、賑わいの創出等を踏まえてデザインを考えていきます。今後の基本設計の中でシンボル性とともにもどのような顔にしていくのか具体的な検討を進めていきます。基本的には氷川参道の落ち着いた雰囲気や緑の連続性、杜のひろばとの一体感等に配慮した計画としていきたいと考えます。また、全国の類似した建築デザインの先進事例も参考にしていきたいと考えます。

内容分類	意見内容	事務局回答
施設活用	① アートギャラリーを設置してほしい。また、中部公民館は古い施設である。公民館機能、図書館機能を将来の歴史・文化複合施設に合築するのが一番理想的である。(3/23)	① アートの展示スペースは確保したいと考えています。また、常設的な展示については今後、歴史・文化の複合施設整備の中で機能分担を図った計画として検討していきます。
	② 屋上緑化を行い、芝生やベンチを設置してはどうか。(3/23)	② 屋上については、機械の配置や、エネルギー対策として太陽光発電装置の設置等を検討しておりますが、段上となるセットバック部分の利活用も考えながら屋上緑化について検討していきます。
耐用年数	① 庁舎の利用年数を何年と想定しているのか。また将来の大宮区の人口はどれくらいと推計しているのか。(3/26)	① 建物構造にもよりますが、通常鉄筋コンクリート造の場合、約60年がワンサイクルになっていると考えます。耐用年数はどのように庁舎を使っていくかにもよりますが、現在計画している庁舎も約60年程度の利用年数を考えています。 ※将来の人口推計（大宮区） 平成27年頃をピークに、その後減少に転じると見込んでいます。平成62年の大宮区の推計値は8.7万人となっています。
スケジュール	① 事業スケジュールはどのようになっているか(3/23・26)	① 現在基本計画を策定中であり計画策定後、基本設計・実施設計を行い、設計後、建設工事を開始します。平成27年度末までの施設完成を目標としています。
まちづくり		
氷川参道	① 氷川参道が将来的に車両の全面通行止め(歩行者専用化)になることがあまり周知されていないように思うが、将来的に問題になるのではないか。(3/26)	① 氷川参道の歩行者専用化について、平成25年度に地元の方々とワークショップ等を行って行く予定です。
氷川緑道西通線	① 自転車道と歩道を完全に分けてほしい。また車道は制限時速を30kmにして静寂性を保ってほしい。(3/23)	① 歩道の幅員は4.5mの予定で、車道と歩道間に1.5mの自転車専用通行帯を設ける予定です。制限速度は警察の権限規定となっていますので時速30kmの制限速度は難しいと思います。
	② 新庁舎の整備と氷川緑道西通線の整備は一体で行われるのかスケジュールを教えてください。(3/26)	② 氷川緑道西通線は、平成25年度に現大宮区役所前を暫定的に整備をします。平成26年度から本格的な工事を行い、平成27年度末までに完成する予定となっています。
	③ 氷川緑道西通線が南大通りで拡幅が止まってしまうと渋滞するのではないか。旧16号まで抜ける計画はあるがその後の計画はあるのか。(3/26)	③ 将来の交通量や交差点の飽和度を計算すると、渋滞は発生しないこととなっていますので、計画は旧16号から吉敷町までとなります。

内容分類		意見内容	事務局回答
		④ 氷川緑道西通線はバス通りになるのか (3/26)	④ 現庁舎より駅から離れることもあり、利便性の観点からバスを運行したいと考えています。事業採算性の問題もあり、現在バス事業所と協議をしています。
区役所機能			
	窓口	⑤ 区役所の窓口部分は、現庁舎の1階のイメージなのか。ワンストップ窓口として利便性が高くなるよう配慮してほしい。(3/26)	① 現庁舎にもパッケージ工房という窓口がありますが、市民利用の多い窓口については階層構成として低層階への集約化を図り利便性に配慮した計画とします。
ふれあいスペース			
	機能イメージ	⑥ 老人福祉機能、子育て支援機能、青少年の居場所機能とはどのようなものか。(3/26)	① イメージとしては、老人福祉センター等のレクリエーションや交流をする場所を考えています。現在の計画はそれぞれの機能に共有部を設けて、多世代間の交流を生み出すことを視点として考えています。また、青少年の居場所機能は他市の先進事例を参考に検討しています。
図書館機能			
	図書館配置	① 図書館を最上階に配置して、図書館の本を屋上で読めるようにしてはどうか。(3/23・26)	① 屋上に図書館の本を持ち出すことは、管理面での課題が多々ありますが、現在所管課である図書館と、開架書架の中だけでなく、カフェやオープンテラス等に持ち込むことが可能か協議をしているところです。
	図書館イメージ	① 子供どうしが気軽に立ち寄れる、子供が利用しやすい図書館にしてほしい。(3/23)	① 子供たち(小・中・高校生)が利用しやすくなるよう、ふれあいスペースとの連携を踏まえ、今後所管課である図書館と協議をしていきます。
		② 子供たちが利用しやすいようにというものもあるが、一方で図書館は静かな空間でもあるべきだと思う。多くの人に来てもらい、なおかつ静かさを確保できるよう両立してほしい。子供だけではなく社会人の生涯学習の場としても検討してほしい。(3/23)	② 図書館において静かな空間は必要であると考えています。環境面で静かな参道沿いへの配置や遮音性を高めるなどの工夫を検討していきます。
	図書館種類	① 多くの人に来てもらうため、一般的な図書館ではなく、漫画図書館に特化してはどうか。新たな魅力となり話題性が生まれる。(3/26)	① 基本的には中央図書館・北図書館などと同じような図書館機能の整備を考えていますが、今後どのようなコンテンツを取り入れていくか図書館と協議をしていきます。

内容分類	意見内容	事務局回答
その他		
	敷地 ① 建設用地は県有地ということであるが、購入するのか。(3/23)	① 昨年12月に県と基本協定を締結しており、合同庁舎の県有地と市有地の土地交換を行うこととなっています。
	保育機能 ① 保育所の不足の問題があるので、子育て支援機能として保育所を設けてはどうか。(3/26)	① 新庁舎整備に伴う子育て支援機能の考え方は、保育そのものではなく、子供や子供連れの方が利用しやすい施設空間づくりを行っていくものであります。